

基本事務事業

3. 「青少年の自主活動、社会参加活動を促進する」

○この基本事務事業の上位の目的(「後期基本計画」の位置づけ)

生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします

・めざしたい将来像

生涯を通じて学んだり、スポーツをする楽しさを味わい続けられるように、自主的に参加しやすい場所や機会を増やすことで、年齢に関わらず心身ともにいきいきと暮らせるまちを実現します。

・めざそう値

| | 13年度 | 19年度 | 21年度 | 25年度 | 32年度 |
|--------------------------|-------|-------|-------|------|------|
| 学習活動を行っている市民の割合 | 44.4% | 42.2% | 39.8% | 44% | 50% |
| 学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合 | 69.4% | 66.9% | 66.1% | 70% | 75% |
| 目的をもって部活動をしている児童生徒の割合 | — | 68.2% | 77.6% | 82% | 90% |
| スポーツを行なっている市民の割合 | 33.4% | 36.0% | 35.9% | 42% | 50% |

・現状と課題

●子どもたちの健全な社会参加活動への支援

子どもを取り巻く社会構造や環境の変化により、青少年の問題行動・犯罪が深刻化していることから、現代の青少年を取り巻く社会環境や動向を的確に把握し、補導活動・相談活動・環境浄化活動など、非行防止に関係する機関・団体や地域と協力して、地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進していく必要があります。また、青少年の健全育成は地域との「ふれあい」が大切ですが、青少年育成団体への帰属率は、平成13年度43.4% だったものが平成19年度43.4%と変わっていません。

なお、少年センターは、非行防止に関係する機関・団体や地域と協力して、地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進しています。



子ども祭り



青少年会館

基本事務事業紹介シート

○この基本事務事業の「目的」

青少年がさまざまな活動を通して自立心の向上を図り、社会の変化に対応できる子どもたちを健全に育成することを目的とする。

○この基本事務事業の「取り組み課題」

子どもたちを取り巻く生活体系の変化に対応する業務への見直し。
青少年を取り巻く環境の多様性に対応する講座の開設。

○この基本事務事業の「めざす成果」

高齢社会が進む中で、青少年と高齢者等との連携を図りながら、地域活動の活性化を目指していき、活動に参加できない30代、40代世代の人たちを取り込んでいく。

○この基本事務事業の「政策目的体系」の位置づけ

I. 政策

生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにする

II. 施策

学習したい人が生涯にわたり学習できる

子どもたちが健全に社会参加活動ができる

スポーツしたい人がスポーツできる

III. 基本事務事業

市民ニーズに対応した学習機会を提供する

学習の場を提供する

家庭・地域の教育力を向上させる

青少年の自主活動、社会参加活動を促進する

スポーツの市民活動を支援育成する

スポーツに楽しむ環境を整備する

IV. 対象業務 16業務

●青少年会館管理運営事業

1. 青少年会館施設提供業務
2. 青少年会館施設維持管理業務
3. 青少年会館施設整備業務

●青少年活動支援事業

4. 松戸少年少女発明クラブ補助金
5. スカウト連絡協議会補助金
6. 青少年団体行事報償費

●青少年自立支援事業

7. 子ども会支援業務
8. 青少年相談員連絡協議会支援業務
9. 子ども会活性化対策業務
10. 非行防止啓発業務
11. 倉吉市との地域間交流業務
12. こどもモニター関係業務
13. こども新聞発行業務
14. こどもの遊び場維持管理業務
15. こども祭り開催業務

●青少年会館学習機会提供事業

16. 青少年会館各種講座開催業務

3. 「青少年の自主活動、社会参加活動を促進する」基本事務事業概要シート①

| 外部環境の変化 | 内部要因 | H23予算額 |
|---|--|----------------|
| 健全育成施策は、個の埋没により地域の秩序を堅持してきた、戦後から高度成長期へ向かう社会環境では、行政が設置する活動場所の増加に伴い、仲間作りとして各種団体やグループの結成数の増加や自己学習意欲の向上が図られ、その成果を発揮してきた。 以降、施策の展開について少しずつ改善してきたものの、つまり青少年に対し提供している講座、イベントの内容や運営方法が、青少年の求める内容に対応できていない。市民からは、個の主張の高まりとともに行政からのワンウェイの事業提供だけでなく、自らが参加し主張できる環境の整備を求められるようになってきた。 | 事業件数や参加者数の増加のため、参加者等への嗜好を把握するアンケートを実施し、その結果を事業に反映してきた。 | 60,213 (千円) |

| No. | 業務名(所管) | 本基本事務事業における本業務の意義・目的 | 業務内容 | 事業費(千円) | | | 人員配置 (人)(H23) | | | 担当部課評価 | | |
|-----|---------------------------------|--|---|---------|--------|--------|---------------|--------|--------|--------|--------|---|
| | | | | H21決算額 | H22決算額 | H23予算額 | H24計画額 | H25計画額 | H26計画額 | | 一般職 | 再任用 |
| 1 | 青少年会館施設提供事業 (生涯学習本部公民館) | 松戸青少年会館及び松戸青少年会館樋野口分館の受付業務が正確及び迅速に対応し、市民の利便性を図る。 | 松戸青少年会館及び松戸青少年会館樋野口分館の受付業務 | H21決算額 | 10,504 | H24計画額 | 10,105 | 一般職 | 0.2 | 人件費 | 1,899 | 規則を遵守し、公平かつ適正に対応し、青少年及び市民の活動を支援している。 |
| | | | | H22決算額 | 10,730 | H25計画額 | 10,105 | 再任用 | 0.15 | | 318 | |
| | | | | H23予算額 | 11,417 | H26計画額 | 11,417 | 嘱託・臨時 | | 事業費計 | 13,634 | |
| 2 | 青少年会館施設維持管理業務 (生涯学習本部公民館) | 松戸青少年会館及び松戸青少年会館樋野口分館等を適正に維持管理し、安全で快適な施設の提供を図る。 | 松戸青少年会館及び松戸青少年会館樋野口分館等の施設を安全で快適に提供するための維持管理業務 | H21決算額 | 15,535 | H24計画額 | 14,936 | 一般職 | 0.85 | 人件費 | 8,071 | 施設を良好な環境に保ち、維持管理をして、青少年及び市民の活動の場を確保している。 |
| | | | | H22決算額 | 13,123 | H25計画額 | 14,936 | 再任用 | 0.15 | | 318 | |
| | | | | H23予算額 | 15,054 | H26計画額 | 15,565 | 嘱託・臨時 | | 事業費計 | 23,443 | |
| 3 | 青少年会館施設整備業務 (生涯学習本部公民館) | 松戸青少年会館及び松戸青少年会館樋野口分館等を整備し、安全で快適な施設の提供を図る。 | 松戸青少年会館及び松戸青少年会館樋野口分館等の施設を安全で快適に提供するための整備業務 | H21決算額 | 0 | H24計画額 | 3,000 | 一般職 | 0 | 人件費 | 0 | " |
| | | | | H22決算額 | 17,485 | H25計画額 | 6,000 | 再任用 | 0 | | 0 | |
| | | | | H23予算額 | 0 | H26計画額 | 4,000 | 嘱託・臨時 | | 事業費計 | 0 | |
| 4 | 松戸少年少女発明クラブ補助金 (生涯学習本部社会教育課) | 児童生徒に科学技術に関する興味・関心を涵養する場の提供と科学的・独創的な発想に基づく創作活動を指導する当該団体を支援することにより、青少年の自主活動を促進する。 | ・松戸少年少女発明クラブ補助金の支出 ・指導、助言及び情報提供等による支援 | H21決算額 | 320 | H24計画額 | 320 | 一般職 | 0.05 | 人件費 | 475 | 活動を通じて児童生徒が製作した作品が各種作品展などで数多くの入賞を果たすなど、その活動は全国的にも高く評価されていることから、青少年の自主活動の促進が図られていると認識している。 |
| | | | | H22決算額 | 320 | H25計画額 | 320 | 再任用 | | | | |
| | | | | H23予算額 | 320 | H26計画額 | 320 | 嘱託・臨時 | | 事業費計 | 795 | |
| 5 | スカウト連絡協議会補助金 (生涯学習本部公民館) | スカウト連絡協議会に資金補助を行うことを通じて青少年の健全育成を図る。 | ボーイスカウト・ガールスカウトの活動を支援する。 | H21決算額 | 760 | H24計画額 | 684 | 一般職 | 0.05 | 人件費 | 475 | スカウトは、各種行事へ参加し、奉仕の意義を伝え、地域の人たちとの交流を図って、自主的な社会活動を行っている。 |
| | | | | H22決算額 | 760 | H25計画額 | 684 | 再任用 | | | 0 | |
| | | | | H23予算額 | 760 | H26計画額 | 760 | 嘱託・臨時 | | 事業費計 | 1,235 | |
| 6 | 青少年団体行事報償費 (生涯学習本部公民館) | 青少年団体の成果発表と青少年会館利用者相互の交流の機会とするとともに、仲間づくり、社会的連帯感を高めていく機会とする。 | 青年フェスティバル実行委員会及び青年学級に対する活動を支援する。 | H21決算額 | 200 | H24計画額 | 180 | 一般職 | 1.3 | 人件費 | 12,344 | 青少年グループの自主活動を支援することにより、グループ間の連携と自主的な企画運営が出来る。 |
| | | | | H22決算額 | 200 | H25計画額 | 180 | 再任用 | 0.3 | | 635 | |
| | | | | H23予算額 | 200 | H26計画額 | 200 | 嘱託・臨時 | | 事業費計 | 13,179 | |
| 7 | 子ども会支援業務 (生涯学習本部青少年課) | 子どもたちを育む地域環境の中で中心的役割を担っている、松戸市子ども会育成会連絡協議会に対し、活動の支援を行う。 | 松戸市子ども会育成会連絡協議会、各地区子ども会育成会、及び単位子ども会に対し、子どもの健全育成を図るための支援を行う。 | H21決算額 | 5,939 | H24計画額 | 6,650 | 一般職 | 1.0 | 人件費 | 9,495 | 子ども会活動を通じ、青少年の健全育成が図られている。 |
| | | | | H22決算額 | 5,685 | H25計画額 | 6,650 | 再任用 | 0 | | 0 | |
| | | | | H23予算額 | 6,561 | H26計画額 | 6,650 | 嘱託・臨時 | 0 | 事業費計 | 16,056 | |
| 8 | 青少年相談員連絡協議会支援業務 (生涯学習本部青少年課) | 青少年の健全育成の一目を担う、青少年相談員連絡協議会に対し、活動費の支援を行う。 | 青少年相談員連絡協議会に対し、子どもの健全育成を図るための支援を行う。 | H21決算額 | 3,822 | H24計画額 | 3,865 | 一般職 | 0.9 | 人件費 | 8,546 | 青少年相談員活動を通じ、青少年の健全育成が図られている。 |
| | | | | H22決算額 | 4,991 | H25計画額 | 5,395 | 再任用 | 0 | | 0 | |
| | | | | H23予算額 | 3,709 | H26計画額 | 3,719 | 嘱託・臨時 | 0 | 事業費計 | 12,255 | |
| 9 | 子ども会活性化対策事業 (生涯学習本部青少年課) | 子ども会の活性化を検討する。 | 協働事業により子ども会の活性化を検討した。 | H21決算額 | 0 | H24計画額 | 0 | 一般職 | 0 | 人件費 | 0 | 子ども会にアンケート調査を行い実態の把握に努めた。 |
| | | | | H22決算額 | 0 | H25計画額 | 0 | 再任用 | 0 | | 0 | |
| | | | | H23予算額 | 0 | H26計画額 | 0 | 嘱託・臨時 | 0 | 事業費計 | 0 | |
| 10 | 非行防止啓発業務 (生涯学習本部青少年課) | 青少年の非行防止を図る。 | 市内の中学生、高校生、及びこどもモニターと、青少年健全育成3団体の協力による街頭啓発 | H21決算額 | 0 | H24計画額 | 0 | 一般職 | 0 | 人件費 | 0 | 平成15年度から継続し、参加者の協力により街頭啓発ができています。 |
| | | | | H22決算額 | 0 | H25計画額 | 0 | 再任用 | 0 | | 0 | |
| | | | | H23予算額 | 0 | H26計画額 | 0 | 嘱託・臨時 | 0 | 事業費計 | 0 | |
| 11 | 倉吉市との地域間交流業務 (生涯学習本部青少年課) | 交流会を通じ、さまざまなことを体験しながら友情を育み、両市の魅力を理解することで、両市の友好促進はもとより、自分自身の成長や、まちづくりの意識の芽生えを促す。 | 小学生による倉吉市との交流で、友情を育み、また自分の街を見直してもらう。 | H21決算額 | 400 | H24計画額 | 450 | 一般職 | 0.6 | 人件費 | 5,697 | 平成13年度から実施し、今年で11年目となり、子ども会役員・ジュニアリーダーの協力を得て、行われている。 |
| | | | | H22決算額 | 400 | H25計画額 | 420 | 再任用 | 0 | | 0 | |
| | | | | H23予算額 | 400 | H26計画額 | 420 | 嘱託・臨時 | 0 | 事業費計 | 6,097 | |
| 12 | こどもモニター関係業務 (生涯学習本部青少年課) | 市の行事への参画、こども新聞の編集・取材、施設見学等を通じ、市政に関心を持たせる。 | 市の行事への参画、及びこども新聞の取材編集を通じて市政を考える。 | H21決算額 | 126 | H24計画額 | 142 | 一般職 | 0.4 | 人件費 | 3,798 | こどもフォーラムなどの行事に参加した際の、アンケートや感想等により、子どもたちから見た素直な意見を頂いている。 |
| | | | | H22決算額 | 138 | H25計画額 | 142 | 再任用 | 0 | | 0 | |
| | | | | H23予算額 | 146 | H26計画額 | 146 | 嘱託・臨時 | 0 | 事業費計 | 3,944 | |
| 13 | こども新聞発行業務 (生涯学習本部青少年課) | こどもモニターの協力を得て、子ども達に関心のあるテーマ、内容を掲載し情報の提供を図る。 | こどもモニターの協力を得て、身近に関心のあるテーマをわかりやすく掲載し、学校やホームページに情報を提供する。 | H21決算額 | 454 | H24計画額 | 535 | 一般職 | 0.4 | 人件費 | 3,798 | こどもモニター自らの編集により、わかりやすい紙面で子どもたちへの情報提供ができています。 |
| | | | | H22決算額 | 404 | H25計画額 | 535 | 再任用 | 0 | | 0 | |
| | | | | H23予算額 | 483 | H26計画額 | 535 | 嘱託・臨時 | 0 | 事業費計 | 4,281 | |
| 14 | こどもの遊び場維持管理業務 (生涯学習本部青少年課) | こどもの遊び場を適正に維持管理することにより、子どもたちが安心して安全に遊べる場所を提供する。 | 子どもの健全育成を図るため、こどもの遊び場の適正な維持管理を行う。 | H21決算額 | 11,185 | H24計画額 | 12,615 | 一般職 | 1.0 | 人件費 | 9,495 | 利用状況や地域の要望を考慮しながら、維持管理している。 |
| | | | | H22決算額 | 15,148 | H25計画額 | 12,615 | 再任用 | 0 | | 0 | |
| | | | | H23予算額 | 11,939 | H26計画額 | 11,939 | 嘱託・臨時 | 0 | 事業費計 | 21,434 | |
| 15 | こども祭り開催業務 (生涯学習本部青少年課) | 市内の子どもたちが一同に集い、各種催し物への参加を通じ「こども達の交流」「親子のふれあい」を図り、青少年の健全育成の一助とすること目的とする。 | 21世紀と森の広場で、昔の遊び創作コーナー等を内容とする、こども祭りを実施する。 | H21決算額 | 4,290 | H24計画額 | 4,370 | 一般職 | 0.55 | 人件費 | 5,222 | 平成22年度には18,500人の来場者があり、子どもたちが楽しく参加できるイベントとして定着し、人気がある。 |
| | | | | H22決算額 | 4,290 | H25計画額 | 4,370 | 再任用 | 0 | | 0 | |
| | | | | H23予算額 | 4,370 | H26計画額 | 4,370 | 嘱託・臨時 | 0 | 事業費計 | 9,592 | |
| 16 | 青少年会館各種講座開催業務 (生涯学習本部公民館) | 青少年が自ら、芸術、文化、スポーツにかかわり自己表現活動を深め、学校外の学習を生き生きと取り組む機会を提供する。 | スポーツ、工作、自然観察など、様々な講座を開催する。 | H21決算額 | 4,588 | H24計画額 | 4,369 | 一般職 | 1.4 | 人件費 | 13,293 | 様々な分野の講座を開催することにより多くの青少年が自発的に講座に参加し学習している。 |
| | | | | H22決算額 | 3,405 | H25計画額 | 4,369 | 再任用 | 0.8 | | 1,694 | |
| | | | | H23予算額 | 4,854 | H26計画額 | 4,854 | 嘱託・臨時 | | 事業費計 | 19,841 | |

3.「青少年の自主活動、社会参加活動を促進する」基本事務事業概要シート②

| | | | |
|---|---|---|-------------|
| 外部環境の変化(地域環境、市民ニーズ等) | 内部要因の変化(基本事務事業の目的を達成するために事業提供側に求められる要件) | 中期的重要課題 | 中期的予算額の増減予測 |
| 情報化社会の到来による多種・多様な価値観やライフスタイルの変化によって、従来の団体活動が市民ニーズに合わなくなり、地域活動の活気が失われる傾向にある。 その一方で、地域活動の輪を広げたい、または参加したいが機会に恵まれないなど、市民の隠れたニーズも増える。 | 多種・多様な市民ニーズに対応するため、各種団体のグループリーダー育成や、各種関係団体との連携を強化し、協働で事業を行うなど、地域活動の活性化を目指す。 また、社会教育施設の予約システム整備や経年劣化に対し修繕等の対策を講じて利便性を高める。 | ・綿密なる意識調査による市民ニーズの把握。 ・各種団体のグループリーダー育成を強化し、地域の意識改革を図る。 ・各種団体(学校・企業・NPOなど)との連携を強化し、人的資源を活用する。 ・経年劣化した社会教育施設の修繕。 | 増減なし(現状維持) |

【基本事務事業の指標】

| 指標 | 基準値(H21) | H23 | H24 | H25 |
|------------------------------|----------|-----|-----|-----|
| 子ども会の加入率(子ども会加入児童数÷市内小学校児童数) | 23% | 23% | 23% | 23% |

| no. | 業務名(所管) | 業務の目的 | 指標(単位) | 基準値(H21) | H23 | H24 | H25 | 今後の変化に対して想定される業務の課題 | 今後の業務の課題に関する対処・取り組み策 |
|-----|-----------------------------|--|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------------------------|--|
| 1 | 青少年会館施設提供事業(生涯学習本部公民館) | 条例や規則に基づき、松戸青少年会館及び松戸青少年会館樋野口分館の受付業務を行い、青少年団体活動及び市民のサービスの向上を図る。 | 利用団体件数(件) 利用者人数(人) | 6,000 117,000 | 6,000 117,000 | 6,000 117,000 | 6,000 117,000 | 予約管理システム及びインターネット予約の導入。 | 業務導入にあたり、職員の研修が必要になる。 |
| 2 | 青少年会館施設維持管理業務(生涯学習本部公民館) | 松戸青少年会館及び松戸青少年会館樋野口分館等を適正に維持管理し、快適な施設の提供を図る。 | 利用団体件数(件) 利用者人数(人) | 6,000 117,000 | 6,000 117,000 | 6,000 117,000 | 6,000 117,000 | 施設設備の老朽化に伴い、費用が増大する。 | 市民の安全、快適な利用確保と年々増えていく修繕費用の確保。 |
| 3 | 青少年会館施設整備業務(生涯学習本部公民館) | 学習活動の拠点としての施設整備を行い、快適な施設の提供を図る。 | 利用団体件数(件) 利用者人数(人) | 6,000 117,000 | 6,000 117,000 | 6,000 117,000 | 6,000 117,000 | 〃 | 市民の安全、快適な利用確保と年々増えていく工事費用の確保。 |
| 4 | 松戸少年少女発明クラブ補助金(生涯学習本部社会教育課) | 当該団体への事業費補助を通じて科学技術に関する興味・関心の涵養及び創作活動を活発化させることにより、青少年の自主活動を促進する。 | 活動参加者数(人) | 54 | 54 | 54 | 65 | ・少子化に伴う参加者の減少 ・児童生徒の理科学離れの傾向 | 当該団体の発展、活動の充実及び参加者数の増加を図るため、活動内容のPRや案内等の方策を共に検討する。 |
| 5 | スカウト連絡協議会補助金(生涯学習本部公民館) | 団体に資金補助を行うこととおして、青少年の健全育成を図る。 | スカウト活動参加者数(人) | 680 | 680 | 680 | 680 | 団員の減少が見込まれる。 | 各スカウト団体の発展や活動の充実及び参加者数の増加を図る方策を当該協議会と共に検討する。 |
| 6 | 青少年団体行事報償費(生涯学習本部公民館) | 青少年団体の成果発表と青少年会館利用者相互の交流の機会とすると共に、仲間づくり社会的連帯感を高めていく機会とする。 | 活動への参加者数(人) | 55 | 55 | 55 | 55 | 青年団体の減少 | 青少年活動団体の育成や、グループリーダー養成の人材確保を行い、グループ相互間の連携を構築していく。また、青年学級の組織形態を新規に加入しやすい組織環境に整える。 |
| 7 | 子ども会支援業務(生涯学習本部青少年課) | 子ども会を通して青少年の健全育成を図る。 | 子ども会会員数 | 25,526 | 25,350 | 25,350 | 25,350 | 子ども会加入者の減少 | 各子ども会に対し課題の聞き取りをし、対策を一緒に考えていく。 |
| 8 | 青少年相談員連絡協議会支援業務(生涯学習本部青少年課) | 青少年相談員を通して青少年の健全育成を図る。 | 青少年の健全育成業務 | 4,992 | 3,709 | 3,865 | 5,395 | 積極的な担い手の確保が難しい | 広報まつど等の媒体を利用して活動内容のPRをし、参加の促進を図る。 |
| 9 | 子ども会活性化対策事業(生涯学習本部青少年課) | 子ども会の実態調査に基づき活性化対策を検討する。 | 子ども会会員数 | 25,526 | 25,350 | 25,350 | 25,350 | 子ども会加入者の減少 | 各子ども会に対し課題の聞き取りをし、対策を一緒に考えていく。 |
| 10 | 非行防止啓発業務(生涯学習本部青少年課) | 啓発活動により青少年の非行を防止する。 | 参加者数 | 137 | 138 | 135 | 135 | 街頭啓発参加者の確保 | 今後も青少年育成3団体に対し協力を依頼していく。 |
| 11 | 倉吉市との地域間交流業務(生涯学習本部青少年課) | 鳥取県倉吉市との友好促進、また両市の魅力を理解し、まちづくりへの意識の芽生えを促す。 | 両市参加者の継続的な交流 | 0 | 80 | 80 | 80 | どのように成果を残すのか | 街づくりについて感じたことを、関係機関に伝える機会をつくりたいと考えている。 |
| 12 | 子どもモニター関係業務(生涯学習本部青少年課) | 子ども達から市政に対する要望や意見を聞く。 | 事業への子どもモニター出席率 | 65 | 80 | 80 | 80 | 子どもの声をどのように行政に反映させるか | 活動の中で行政に意見を伝える機会をつくりたいと考えている。 |
| 13 | 子ども新聞発行業務(生涯学習本部青少年課) | 子ども達が新聞の取材、編集を行うことで様々なことに興味を持ってもらう。 | 取材・編集会議への子どもモニター出席率 | 82 | 90 | 90 | 90 | 出席率の変化 | 学校行事とモニター行事が重ならないよう配慮する。 |
| 14 | こどもの遊び場維持管理業務(生涯学習本部青少年課) | こどもの遊び場の維持管理。 | 遊び場の箇所数 | 65 | 60 | 60 | 60 | 管理方法のあり方について | 検討中です。 |
| 15 | 子ども祭り開催業務(生涯学習本部青少年課) | 子ども祭りに参加することで「仲間との交流」「親子のふれあい」を感じてもらうことにより、青少年の健全育成を図る。 | 参加人数 | 20,000 | 19,000 | 19,500 | 20,000 | 内容の充実について | 実行委員会で内容の充実について検討する。 |
| 16 | 青少年会館各種講座開催業務(生涯学習本部公民館) | 青少年が自ら、芸術、文化、スポーツにかかわり、自己表現活動を深め、学校外の学習を生き生きと取り組む機会を提供する。 | 講座延べ参加者数(人) | 7,400 | 7,400 | 7,400 | 7,400 | 人権や戦争など社会的テーマ講座への参加者の減少 | 興味の視点を多方面から捉えた講座の企画立案を工夫する。 |

青少年課

(平成22年度)

| 事業名 | 内 容 | | | |
|------------------|-----------------------|---|----------|------------------|
| 第37回 松戸市子ども祭り | 期 日 | 平成22年5月3日 | | |
| | 会 場 | 21世紀の森と広場(つどいの広場) | | |
| | 参 加 者 | 18,500人 | | |
| | 内 容 | 広場内にて31コーナーの催しを実施 | | |
| | 実 施 | 実行委員会への委託事業 | | |
| 子どもモニター | 任 期 | 平成22年4月1日から1年間 | | |
| | 委 嘱 | 松戸市教育委員会 | | |
| | 内 訳 | (1)小学6年生 | 13名 | |
| | | (2)中学2年生 | 22名 | |
| | 内 容 | 子どものための行政について、子ども自身から意見・要望をもとに、その反映と各種事業への協力依頼。 | | |
| 子ども新聞 | 発 行 日 | 平成22年10月1日(67号) 平成23年 3月1日 ホームページ版更新 | | |
| | 部 数 | 40,000部 | | |
| | 配 布 | 市内の小学1年生～中学3年生 | | |
| 子どもの遊び場 | 設 置 数 | 65ヶ所(平成23年3月末) | | |
| | 内 容 | 市内遊休地(公・民)を利用し、身近で親しめる広場として整備及び管理している。 | | |
| 松戸市子ども会育成会連絡協議会 | 行事名 | 実施時期 | 参 加 | 会 場 |
| 主催の主な事業 | キャンプ大会 | 7月22日～24日 | 86人 | 里美野外センター |
| | 少年少女のつどい中央大会(ソフト・ドッジ) | 8月7日～8日 | ソフト24チーム | 金ヶ作公園 |
| | | | ドッジ35チーム | 常盤平第1小 常盤平第2小 |
| 少年少女サッカー大会 | 1月30日 | 56チーム | 松戸運動公園 | |
| 松戸市青少年相談員連絡協議会 | 行事名 | 実施時期 | 参 加 | 会 場 |
| 主催の主な事業 | 親子手芸教室 | 6月12日 | 61人 | 松戸市民会館 |
| | 青少年スポーツ大会 | 8月29日 | 318人 | 松戸運動公園 |
| | 青少年キャンプin会津 | 8月20日～22日 | 27人 | 会津自然の家 |



子ども新聞



子どもモニター

青少年会館

(平成22年度)

| 事業名 | 内 容 | | | | | | | |
|-------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|
| 青少年団体行事報償費 | ア・特別支援学級の卒業生の自立や余暇活動の充実のため、仲間作りと学習の場の提供を支援する。 イ・青少年サークル相互の親睦と交流を図り、社会的連帯感の醸成を支援する。 | | | | | | | |
| 青少年会館各種講座開催業務 | 総計:52講座・延べ5,322人 | | | | | | | |
| 青少年教室 | 青少年自ら、芸術文化、スポーツに関り、自己表現力活動を深め、学習に取り組む機会とする。親子、地域の関りを重視して開催する。43講座・延べ2,581人 | | | | | | | |
| 青年講座 | 青年に身近な課題を取り上げ、学習することによって、自己表現力を高め、仲間づくりを通して活力あるグループ作りを目指します。5講座・延べ294人 | | | | | | | |
| 文化祭&青年フェスティバル | 講座の成果発表とグループ間の交流、親睦を図ることを期して開催している。来場者数・1,900人 | | | | | | | |
| 国際交流事業 | 諸外国の生活、文化、風習に触れ、国際的な視野を広げ、人権や平和についても考える機会とします。1講座・26人 | | | | | | | |
| 青年学級 | 特別支援学校の卒業生に対して、生活面での自立を目指し、自主的活動の促進を目的に実施している。年12回・48人参加・延べ521人 | | | | | | | |
| 芸術祭&アートパフォーマンスまつり | 地域に根ざした舞台芸術の振興と団体間の交流を図ることを期して開催している。震災のため中止。(21年度来場者・1,970人) | | | | | | | |
| 施設利用状況 | | | | | | | | |
| 本 館 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
| | 件 数 | 415 | 389 | 407 | 390 | 286 | 403 | |
| | 人 数 | 7,146 | 7,002 | 7,521 | 7,167 | 5,031 | 7,220 | 合 計 |
| | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 件 数 | 451 | 416 | 383 | 388 | 353 | 326 | 4,607 | |
| 人 数 | 8,091 | 6,388 | 6,773 | 6,825 | 6,127 | 5,657 | 80,948 | |
| 分 館 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
| | 件 数 | 100 | 88 | 100 | 109 | 74 | 83 | |
| | 人 数 | 2,011 | 1,710 | 1,918 | 1,948 | 1,257 | 1,494 | 合 計 |
| | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 件 数 | 98 | 94 | 84 | 92 | 107 | 92 | 1,121 | |
| 人 数 | 1,793 | 1,615 | 1,571 | 1,642 | 1,925 | 1,746 | 20,630 | |

青少年会館・社会教育課

| 事業名 | 内 容 |
|-----------|--|
| スカウト連絡協議会 | ボーイスカウト10団、ガールスカウト4団で構成する協議会の社会奉仕活動(地域交流、行政や学校との連携)に対し、支援している。 |
| 少年少女発明クラブ | 市内小中学校の児童生徒を対象に、科学に対する理解や知識を深める活動(ものづくり体験、作品展等)に対し、支援している。 |

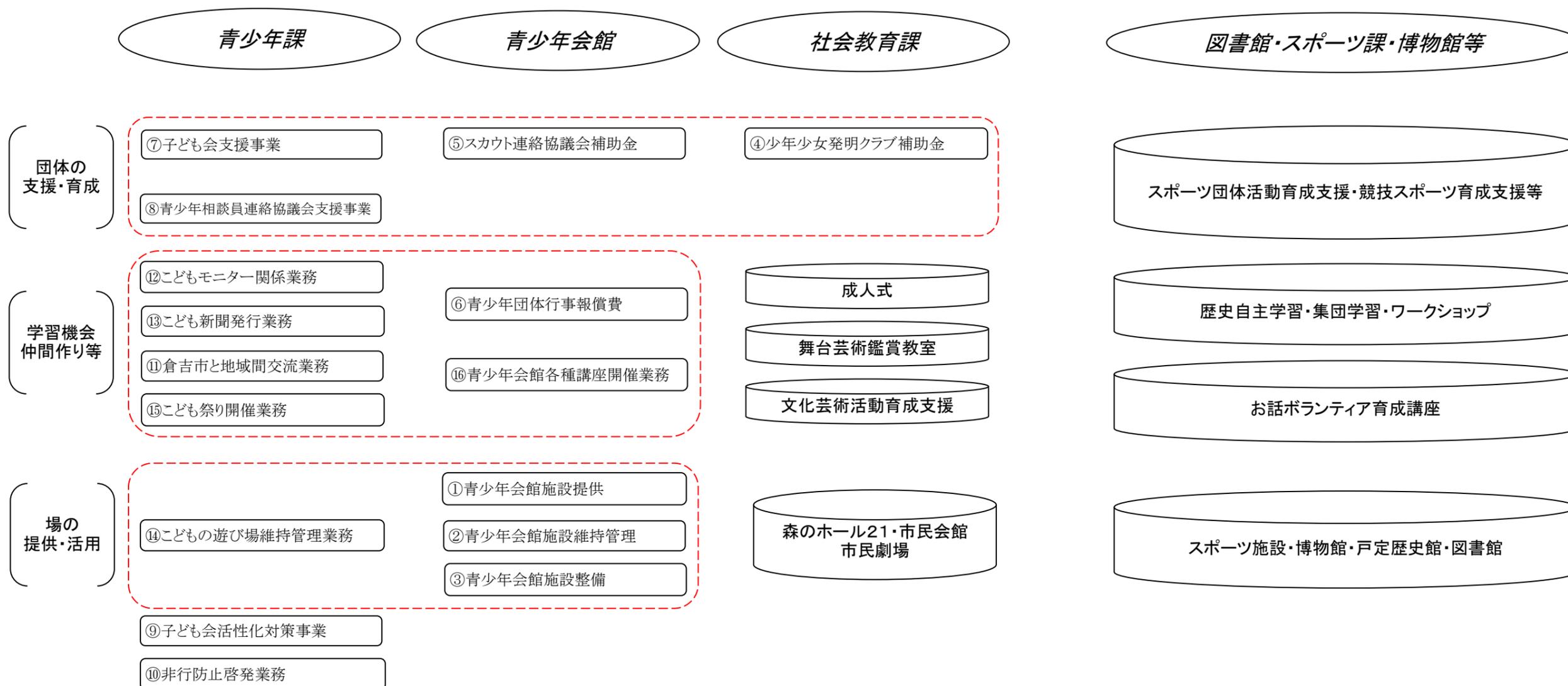


青少年教室



文化祭&青年フェスティバル

社会教育における青少年の自主活動・社会参加活動推進体制



上図社会教育における「青少年の自主活動および社会参加活動を推進する」体制では、今回の「事業優先度評価対象事業」(点線枠内)だけが、青少年の健全育成のための事業ではありません。つまり、社会教育関係各課が多角的に関り、多様な事業(□)を提供することで、生涯学習体系のなかで、社会教育が学校教育の補完をしています。

対象事業の表し方として、業務目的別に「関係する団体等を支援することにより、社会奉仕活動の推進やリーダーの育成」、「青少年の自己表現力の高揚や親子・地域の関りを重視できるように、学校以外の学習や仲間作り」、「こどもたちが優先的に学習や仲間作りが行える場の提供や活用」と区分し、それぞれで個別事業(別紙参照)を実施しています。

全体的な課題としては、これまでアウトプット評価指標としてきた団体数や参加者数が、多様なニーズや価値観の変化とともに減少傾向にあること、施設等の物理的環境の経年劣化等が上げられます。